



中学地理



(10)

デジタル 資料集

シーエーアイ教育システム

アメリカ合衆国

アメリカ合衆国（アメリカがっしゅうこく、英語: United States of America）、通称アメリカは、北アメリカ大陸および北太平洋に位置する連邦共和国である。

イギリスの北米植民地が1776年7月4日に独立を宣言して成立した国家で^[1]、独立宣言において全ての人民の権利と平等をうたい政府をその保障手段と明確に位置づけ、かつては奴隷制のような矛盾を抱えつつも、ロックらの人権思想を理念的基盤として歩んできた歴史を有する。少数のネイティブ・アメリカンと呼ばれる先住民以外の国民は、主にユーラシア大陸からの移民もしくはアフリカ大陸から奴隷貿易によって強制連行された者の子孫である。そのため、その母体になった国々や、その他多くの国家の特徴を経済的、政治的、軍事的、そして文化的にも合わせ持っている。資本主義、自由主義、民主主義、共和制、大統領制、二院制を採用している連邦国家の1つである。

国土は、北アメリカ大陸中央部の大西洋と太平洋に挟まれた本土（48州と連邦政府直轄地である首都ワシントンD.C.）、大陸北西部のアラスカとアリューシャン列島（アラスカ州）、太平洋のハワイ諸島（ハワイ州）。さらに本国の他に、プエルトリコやグアム島などの海外領土を領有する。アラスカとハワイを除く本土は、北はカナダ、南はメキシコと隣接。アラスカ州はベーリング海峡を挟んでロシアと接する。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A2%E3%83%A1%E3%83%AA%E3%82%AB>

ネイティブ・アメリカン

ネイティブ・アメリカン (Native American ネイティヴ・アメリカン) とは、[アメリカ合衆国の先住民](#)の総称である。

「[アメリカインディアン](#)」はこの呼称を公式に承認しておらず、彼ら自身は1977年にスイスの国連先住民会議に代表団を送り、満場一致で「我々の民族名はインディアンである」と公式に議決表明している。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%8D%E3%82%A4%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%96%E3%83%BB%E3%82%A2%E3%83%A1%E3%83%AA%E3%82%AB%E3%83%B3>

ヒスパニック

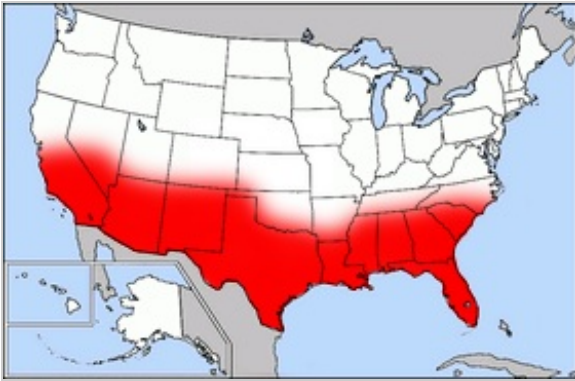
ヒスパニック（[英語](#): Hispanic、[スペイン語](#): Hispano〔イスパーノ〕）は、[メキシコ](#)や[プエルトリコ](#)、[キューバ](#)など、[中南米](#)のスペイン語圏諸国から[アメリカ合衆国](#)に渡って来た移民とその子孫をいう。ヒスパニック系アメリカ人(Hispanic American)とも表記される。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%92%E3%82%B9%E3%83%91%E3%83%8B%E3%83%83%E3%82%AF>

サンベルト

サンベルト (Sunbelt) とは、[アメリカ合衆国南部](#)、ほぼ北緯37度以南の温暖な地域のこと。日照時間が長いことからこう呼ばれる。概ね以下の各州が含まれる。

この地域は元々農業が盛んであったが、近年は石油・航空機・電子などの産業が発達し、また、経済だけでなく政治的にも重要な地域になってきている。また、温暖で過ごしやすいために中南米や西欧、アフリカなどから多数の移民が訪れる。またアメリカ国内でも寒冷な地方からの移住者も多いため、人口は急増している。とりわけ、カリブ海諸国や国内からの移住が多いフロリダ州、メキシコからの移住者が多いアリゾナ州、税金が安いネバダ州、経済が好調で、自然災害の被害も比較的少ないノースカロライナ州などで社会増加が顕著となっている。



サンベルト地帯、赤色で強調。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B5%E3%83%B3%E3%83%99%E3%83%AB%E3%83%88>

シリコンバレー

シリコンバレー (**Silicon Valley**) はアメリカ合衆国カリフォルニア州北部のサンフランシスコ・ベイエリアの南部に位置しているサンタクララバレーおよびその周辺地域の俗称。名称の起源はこの地域の多数の集積回路革新者及び工場と関連しているが、やがてはこの地域内の先端技術ビジネスを当てはめるようになった。

具体的には北はサンマテオ周辺からサンノゼまでの複数の市を指す。シリコンバレーの中心は、マウンテンビュー、サニーバール、サンタクララの3つの市であるが実際にシリコンバレーという都市は存在しない。

元々メンロ・パークにあるスタンフォード大学出の技術者がヒューレット・パッカードなどのエレクトロニクス、コンピュータ企業を設立し、この大学の敷地をスタンフォード・インダストリアル・パークとしてこうした新技術の会社を誘致したのが始まりともいわれている。また、トランジスタの発明者の一人であるウィリアム・ショックレーがこの地に「ショックレー半導体研究所」を設立し、そこから分化したフェアチャイルドセミコンダクターや、更にそこからインテルをはじめとする多くの半導体企業が生まれたことにちなみシリコンバレーと呼ばれるようになった。近年にはソフトウェア・インターネット関連企業も同地区には多数生まれ、IT企業の一大拠点となっている。



シリコンバレーの風景



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B7%E3%83%AA%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%83%90%E3%83%AC%E3%83%BC>

メガロポリス

メガロポリス（**ギリシャ語**（**ラテン文字表記**）：megalopolis）は、多くの大都市が深い関係をもって帯状に連なっている地域のこと。**フランス**の地理学者**ジャン・ゴットマン**が、政治、経済、文化の中核的機能の集積において、メトロポリス（大都市、首都）以上のものであることから、メガロポリス（巨帯都市）と命名した。

アメリカ合衆国北東部、**ニューヨーク**を中心に**ボストン**から**ワシントンD.C.**までの大西洋沿岸の都市群のことをいい、周辺の衛星都市を含め、全長約700kmに渡る都市群が形成されている（米国のこの地域については北東回廊とも称される）。英語でのスペリングは「BosWash」で、北端であるボストン (Boston) の「Bos」、南端であるワシントンD.C. (Washington, D.C.) の「Wash」を組み合わせでできた言葉である。ここに含まれる主な大都市圏は、北東から南西方向に、ボストン・**ハートフォード**・**ニューヨーク**・**フィラデルフィア**・**ボルティモア**・ワシントンD.C.などである。**アイビーリーグ**の大学やその他の主要な大学・研究施設も多くあることで、学術面での集積もみられる。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A1%E3%82%AC%E3%83%AD%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%B9>

NAFTA

北米自由貿易協定（ほくべいじゆうぼうえききょうてい、略称：ナфта、**英**: North American Free Trade Agreement, **NAFTA**、**仏**: Accord de libre-échange nord-américain, ALÉNA、**西**: Tratado de Libre Comercio de América del Norte, TLCAN, TLC）とは、**アメリカ合衆国**、**カナダ**、**メキシコ**の3国で結ばれた**自由貿易協定**である。**1992年12月**に署名し、**1994年1月1日**に発効した。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/NAFTA>

ブラジル連邦共和国

ブラジル連邦共和国（ブラジルれんぽうきょうわこく、ポルトガル語: República Federativa do Brasil）、通称ブラジルは、南アメリカに位置する連邦共和制国家である。南米大陸で最大の面積を誇り、ウルグアイ、アルゼンチン、パラグアイ、ボリビア、ペルー、コロンビア、ベネズエラ、ガイアナ、スリナム、フランス領ギアナ（つまりチリとエクアドル以外の全ての南米諸国）と国境を接している。また、大西洋上のフェルナンド・デ・ノローニャ諸島、トリンダージ島・マルティン・ヴァス島、セントピーター・セントポール群島もブラジル領に属する。国土面積は日本の約22.5倍で、アメリカ合衆国よりは約110万km²（コロンビア程度）小さいが、ロシアを除いたヨーロッパ全土より大きい。首都はブラジリア。

南アメリカ大陸最大の面積を擁する国家であると同時にラテンアメリカ最大の領土、人口を擁する国家で、面積は世界第5位である。南北アメリカ大陸で唯一のポルトガル語圏の国であり、同時に世界最大のポルトガル語使用人口を擁する国でもある。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%96%E3%83%A9%E3%82%B8%E3%83%AB>

生産量 [編集]

[国際コーヒー機関](#)による集計では、2009年の生産量は 119,894,000袋（60kg換算で 7,193,640t、以下同様）となっている。^[3]

1. ブラジル - (2,368,200t - 33.1%)
2. ベトナム - (1,080,000t - 15.1%)
3. インドネシア - (682,800t - 9.6%)
4. コロンビア - (510,000t - 7.1%)
5. インド - (289,620t - 4.1%)
6. エチオピア - (270,000t - 3.8%)
7. メキシコ - (252,000t - 3.5%)
8. ホンジュラス - (211,620t - 3.0%)
9. グアテマラ - (210,000t - 2.9%)
10. ペルー - (198,900t - 2.8%)
11. ウガンダ - (180,000t - 2.8%)
12. コートジボワール - (111,000t - 1.6%)
13. ニカラグア - (101,220t - 1.4%)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%92%E3%83%BC%E8%B1%86#.E7.94.9FE7.94.A3.E9.87.8F>

アルゼンチン共和国

アルゼンチン共和国^[1]（アルゼンチンきょうわこく、**スペイン語**: República Argentina）、通称アルゼンチンは、**南アメリカ**南部に位置する**連邦共和制国家**である。西と南に**チリ**、北に**ボリビア**、**パラグアイ**、北東に**ブラジル**、**ウルグアイ**と国境を接し、東と南は**大西洋**に面する。**ラテンアメリカ**ではブラジルに次いで2番目に領土が大きく、世界全体でも第8位の領土面積を擁する。首都は**ブエノスアイレス**。2009年の**GDP**は約3100億ドル（約27兆円）であり^[2]、**神奈川県**よりやや小さい**経済規模**である^[3]。

チリと共に南アメリカ最南端に位置し、国土の全域が**コーノ・スール**の域内に収まる。国土南端の**フエゴ島**には世界最南端の都市**ウシュアイア**が存在する。アルゼンチンは**イギリス**が実効支配する**マルビーナス諸島**（**英語**では**フォークランド諸島**）の領有権を主張しており、またチリ、イギリスと同様に**アルゼンチン領南極**として知られる**南極**の1,000,000 km²の領有権も主張している。

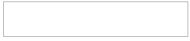


<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A2%E3%83%AB%E3%82%BC%E3%83%B3%E3%83%81%E3%83%B3>

ペルー共和国

ペルー共和国（ペルーきょうわこく）、通称ペルーは、南アメリカ西部に位置する共和制国家である。北にコロンビア、北西にエクアドル、東にブラジル、南東にボリビア、南にチリと国境を接し、西は太平洋に面する。首都はリマ。

紀元前から多くの古代文明が栄えており、16世紀までは当時の世界で最大級の帝国だったインカ帝国（タワンティン・スウユ）の中心地だった。その後スペインに征服された植民地時代にペルー副王領の中心地となり、独立後は現在まで大統領制を敷いている。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9A%E3%83%AB%E3%83%BC>

欧州連合（おうしゅうれんごう）は、[欧州連合条約](#)により設立された**ヨーロッパ**の地域統合体。欧州連合では欧州連合条約の発効前に調印されていた**単一欧州議定書**によって市場統合が実現し、また**シェンゲン協定**により域内での国境通過にかかる手続きなどの負担を大幅に削減した。さらに欧州連合条約発効後によって外交・安全保障分野と司法・内務分野での協力枠組みが新たに設けられ、**ユーロ**の導入による通貨統合が進められている。このほかにも**欧州議会**の直接選挙が実施されたり、**欧州連合基本権憲章**が採択されたりするなど、欧州連合の市民権の概念が具現化されつつある。加盟国数も**欧州経済共同体**設立を定めた**欧州経済共同体設立**発効時の6か国から、**2007年**1月までに27か国にまで増えている。



欧州連合（1993年以前は欧州諸共同体）加盟国の領域とその変遷



<http://ja.wikipedia.org/wiki/EU>

ユーロ

ユーロとは、[欧州連合](#)における[経済通貨同盟](#)で用いられている通貨。[ヨーロッパ](#)では23の国で使用されている。この23か国のうち17か国が[欧州連合加盟国](#)である。

ユーロは準備通貨としては[アメリカ合衆国ドル](#)の次に重要な通貨の地位を有していた。さらに、一時は第2の[基軸通貨](#)と呼ばれていたが、近年の通貨危機において、通貨連盟の矛盾が表面化しその存続を危ぶむ意見さえも出るようになってきている。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A6%E3%83%BC%E3%83%AD>

フランス共和国

フランス共和国（フランスきょうわこく、フランス語: République française）、通称フランスは、西ヨーロッパ西部に位置する共和制国家である。北東にベルギー、ルクセンブルク、東にドイツ、スイス、南東にイタリア、モナコ、南西にアンドラ、スペインと国境を接し、西は大西洋に、南は地中海に面する。また、北海のドーバー海峡を隔てて北西にイギリスが存在する。海外領土でもサン・マルタン島でオランダと陸上国境を接し、南米植民地の仏領ギアナでは西にスリナム、南にブラジルと陸上国境を接する。首都はパリ。欧州連合加盟国。国連安保理常任理事国。2009年のGDPは約2兆6759億ドルであり、日本の52%程の経済規模である^[1]。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%82%B9>

混合農業

混合農業（こんごうのうぎょう）とは、**家畜**飼育と作物栽培を組み合わせた**農業**。ヨーロッパ中緯度地域の農業の基本形態である。**三圃式農業**が発展したもので小麦、ライ麦などの食用穀物と苑麦、トウモロコシ、根菜類などの飼料作物を栽培し、牛、豚などの肉用家畜や鶏などの家禽の飼育、販売も同時に目指す農業である。混合農業は、自給的混合農業と商業的混合農業に分けられる。前者は自家用穀物栽培の比重が高く、商品化される畜産物の比重が軽い農業で、飼料作物栽培の比重が高い。後者は飼料作物栽培の比重が高く、畜産物の販売に重点を置き、機会・肥料などを積極的に利用し、合理的な経営を展開している。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B7%B7%E5%90%88%E8%BE%B2%E6%A5%AD>

ドイツ連邦共和国

ドイツ連邦共和国（ドイツれんぽうきょうわこく、**ドイツ語**: Bundesrepublik Deutschland）、通称ドイツは、**ヨーロッパ**中部に位置する**連邦共和制国家**である。首都は**ベルリン**。北は**デンマーク**、東は**ポーランド**、**チェコ**、南は**オーストリア**、**スイス**、西は**フランス**、**ルクセンブルク**、**ベルギー**、**オランダ**と国境を接する。また、北部は、北西側が**北海**、北東側は**バルト海**に面する。

領域は**1990年**の**ドイツ再統一**によって、**ドイツ民主共和国**（旧東ドイツ）を構成していた15県および**東ベルリン**が6州としてドイツ連邦共和国（**西ドイツ**）に編入されて、現在の16州となった。**2008年**まで6年連続で世界最大を誇った輸出額は**中華人民共和国**に抜かれたものの、なお世界一の工業製品輸出国であり、**アメリカ合衆国**、**中華人民共和国**、**日本**に次いで世界第4位（為替レート換算値による）の**GDP**を誇る**経済大国**である。世界の先進7ヶ国 (**G7**) の一つ。**フランス**と並ぶ**欧州連合** (EU) の中核国である。**2009年**の**GDP**は約3兆3527億ドルであり、**日本**の66%程の経済規模である^[1]。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%89%E3%82%A4%E3%83%84>

ライン川

ライン川（阿:Rhy、巴/独:Rhein、蘭:Rijn、仏:Rhin、英:Rhine、伊:Reno、羅:Rhenus）は、ヨーロッパを流れる川。

スイスアルプスのトーマ湖（Tomasee）に端を發し、ボーデン湖に入りドイツ・フランスの国境を北に向かう、ストラスブールを越えてカールスルーエの少し南からドイツ国内を流れ、ボン、ケルン、デュッセルドルフ、クレーヴェなどを通過しオランダ国内へと入ったあと2分岐し、ワール川とレク川となりロッテルダム付近で北海に注いでいる。

全長1,233キロ。そのうちドイツを流れるのは698キロ、ドイツ人はこの川を「父なる川」と呼んでいる。ドナウ川とともに、外国の船が自由に航行する国際河川の一つ。



ライン川の流域地図



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%B3%E5%B7%9D>

ルール工業地帯

ルール地方（ルールちほう、ドイツ語：Ruhrgebiet）は、[ルール川](#)下流域に広がる、面積4,435平方キロ、人口約500万人の、[ドイツ](#)屈指の大都市圏である。かつては[重工業地帯](#)として、ドイツの産業を牽引した地方である。



ルール地方の位置



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AB%E3%83%BC%E3%83%AB%E5%B7%A5%E6%A5%AD%E5%9C%B0%E5%B8%AF>

イギリス

グレートブリテン及び北アイルランド連合王国（グレートブリテンおよびきたアイルランドれんごうおうこく、**英語**: United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland）、通称イギリスは、**イングランド**、**スコットランド**、**ウェールズ**、**北アイルランド**から構成される**立憲君主制国家**であり、**英連邦王国**の一国である。また、国際関係について責任を負う地域として、**王室属領**及び**海外領土**がある。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A4%E3%82%AE%E3%83%AA%E3%82%B9>

産業革命

産業革命（さんぎょうかくめい、英: Industrial Revolution）は、18世紀から19世紀にかけて起こった工場制機械工業の導入による産業の変革と、それに伴う社会構造の変革のことである。市民革命とともに近代の幕開けを告げる出来事とされるが、近年では産業革命に代わり「工業化」という見方をすることが多い。ただしイギリスの事例については、従来の社会的変化に加え、最初の工業化であることと世界史的意義を踏まえ、現在でも産業革命という用語が用いられている。工業化ということも踏まえて、工業革命とも訳される。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%94%A3%E6%A5%AD%E9%9D%A9%E5%91%BD>

イタリア共和国

イタリア共和国（イタリアきょうわこく、**イタリア語**: Repubblica Italiana）、通称イタリアは、**南ヨーロッパ**に位置する**共和制国家**。

イタリア半島およびその付け根に当たる部分と、**地中海**に浮かぶ2つの大きな島（**サルデーニャ島**、**シチリア島**）からなる。国土北部の**アルプス山脈**において、**フランス**、**スイス**、**オーストリア**、**スロベニア**と国境を接し、南西の**シチリア島**の対岸に**チュニジア**が、南には旧植民地の**リビア**が存在する。また**サンマリノ**、**バチカン**の領土を取り囲んでいる。首都は**ローマ**。2009年のGDPは約2兆1182億ドル(約190兆円)である^[1]。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A4%E3%82%BF%E3%83%AA%E3%82%A2>

ローマ帝国

ローマ帝国（ローマていこく、**羅**: **Imperium Romanum**）は、**古代ローマ**が**イタリア半島**に誕生した**都市国家**から、**地中海**にまたがる**領域国家**へと発展した段階以降を表す言葉である。従って厳密には**古代ローマの体制が共和制だった頃**を含んでいる。最盛期には**地中海沿岸全域**に加え、**ブリタンニア**、**ダキア**、**メソポタミア**など広大な領域を版図とした。**シルクロード**の西の起点であり、古代中国の文献では**大秦**の名で登場する。



ローマ帝国の最大版図

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%83%9E%E5%B8%9D%E5%9B%BD>

オランダ王国

オランダ王国（オランダおうこく、*Koninkrijk der Nederlanden*）、通称オランダは、西ヨーロッパに位置する立憲君主制国家。海外領土としてカリブ海に6つの島を有する。憲法上の首都はアムステルダムだが、政治の中心は王宮や国会の所在地であるデン・ハーグ。

ヨーロッパ北西部に位置し、東はドイツ、南はベルギーと国境を接し、北と西は北海に面する。ベルギー、ルクセンブルクと合わせてベネルクス三国と呼ばれる。

ヨーロッパの交通、交易の要所。リベラルな政策、気風。人口密度が高い。堤防により囲まれた低地。世界第9位の天然ガス産出量を誇る資源産出国であり、チーズ、チューリップ、風車でも有名。ゴッホやフェルメールなど有名な画家を輩出。



http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB:Location_Netherlands_EU_Europe.png

ポルダー

干拓（かんたく）とは遠浅の海や干潟、水深の浅い湖沼やその浅瀬を仕切り、その場の水を抜き取ったり干上がらせるなどして陸地にすること。主に農地として開拓する時に用いられる。

オランダの歴史は、俗に「世界は神が作ったが、オランダはオランダ人が作った」と言われるように干拓地（ポルダー）と切り離せない。

オランダでは海岸沿いに広がる湿地や泥炭地や干潟を埋め立てて土地を広げてきた歴史がある。オランダ最古の堤防はローマ帝国時代に遡り、初期の干拓は11世紀から13世紀の間に始まった。海や湖を干上げる近代的な干拓の始まりは、1612年のペームスター干拓地であった。以来オランダでは堤防に囲まれ風車・排水路・水門で雨水や地下水を排水する干拓地（ポルダー）が広がった。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9D%E3%83%AB%E3%83%80%E3%83%BC%E3.82.AA.E3.83.A9.E3.83.B3.E3.83.80.E3.81.AE.E5.B9.B2.E6.8B.93>

ユーロポート

ロッテルダム港（**オランダ語** Haven van Rotterdam ハーフェン・ファン・ロッテルダム）は、**オランダ**・**ロッテルダム**にある**港湾**で、世界第三位の**貨物**取扱量を誇る、**ヨーロッパ**最大の港である。**ライン川**が**北海**に注ぐ直前に位置し、外洋と河川の結節点として発展した。世界最大の**石油化学工業**地帯でもあり、**石油メジャー**各社の**コンビナート**が林立している。1960年代に建設された**ユーロポート**（ウーロポールト）の名は特に有名で、俗にロッテルダム港全体を指して「ユーロポート」と呼ぶことがある。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A6%E3%83%BC%E3%83%AD%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88>

フィヨルド

フィヨルド（ノルウェー語等：fjord、異称：峡湾、峡江）とは、氷河による浸食作用によって形成された複雑な地形の湾・入り江のこと。ノルウェー語による通俗語を元とした地理学用語である。湾の入り口から奥まで、湾の幅があまり変わらず、非常に細長い形状の湾を形成する。

リアス式海岸が通常の山地・河谷が沈水して形成されたものであるのに対し、フィヨルドは氷河によって形成されたU字谷が沈水して形成されたものである。そのため、寒帯の地域に多く形成される。また南半球では、南極環流より北の陸地で寒い地域に限られるため、北半球に比べフィヨルドの数は少なく、規模も小さい。

- ソグネ・フィヨルド（ノルウェー） - ノルウェー最大。
- トロンヘイム・フィヨルド（ノルウェー）
- ベスト・フィヨルド（ノルウェー）
- ゲイランゲル・フィヨルド（ノルウェー） - 最もフィヨルドらしい景観と称される。
- ハルダンゲル・フィヨルド（ノルウェー）
- ネーロイ・フィヨルド（ノルウェー）
- ヴェスト・スタディル・フィヨルド（デンマーク）
- ステヴン・フィヨルド（デンマーク、ラムサール条約指定湿地登録地）

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A3%E3%83%A8%E3%83%AB%E3%83%89>

ロシア連邦

ロシア連邦（ロシアれんぽう、**ロシア語**: Российская Федерация）、またはロシア（Россия）は、**モスクワ**を首都とし**ロシア人**が国民の多数を占める**大統領制の共和制国家**。「ロシア連邦」「ロシア」は双方とも正式名称である^[1]。

世界最大の面積をもつ国土は**ヨーロッパ**と**アジア**にまたがり、北西から順に**グリーンランド**（デンマーク自治領）、**ノルウェー**、**フィンランド**、**エストニア**、**ラトビア**、**ベラルーシ**、**リトアニア**、**ポーランド**（リトアニア、ポーランドとの**国境**は**バルト海**とリトアニアに囲まれた**飛び地領**である**カリーニングラード州**である）、**ウクライナ**、**グルジア**、**アゼルバイジャン**、**カザフスタン**、**中国**、**モンゴル**、**北朝鮮**、**日本**、**アメリカ**と国境を接し、北は**北極海**、東は**太平洋**に囲まれている。

（尚、右図はロシアの実効支配地域を示しているが、日本政府は**北方地域**の領有権を主張し、**南樺太**および**千島列島**は帰属未定としている。）



<http://ja.wikipedia.org/wiki/ロシア>

ソビエト社会主義共和国連邦

ソビエト社会主義共和国連邦（ソビエトしゃかいしゅぎきょうわこくれんぽう、ロシア語: **Союз Советских Социалистических Республик**）は、1922年に世界初の社会主義国として成立し、1991年に解体された連邦国家である。略称はソビエト連邦、ソ連^[1]、ソビエト、ソ連邦など。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%BD%E9%80%A3>

ケニア共和国

ケニア共和国（ケニアきょうわこく）、通称ケニアは、東アフリカに位置する共和制国家。北にエチオピア、北西にスーダン、西にウガンダ、南にタンザニア、東にソマリアと国境を接し、南東はインド洋に面する。首都はナイロビ。

首都ナイロビには国際連合環境計画、国際連合人間居住計画の本部がある。旧イギリス植民地。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B1%E3%83%8B%E3%82%A2>

カカオ豆

FAOの統計資料によると2002年の全世界の生産量は281万トン^[1]。カカオの生産はアフリカが全世界の2/3を占め、残りの1/3をアジアと南アメリカで分ける。

1. コートジボワール - 100万トン (35.6%)
2. ガーナ - 38万トン (13.5%)
3. インドネシア - 34万8000トン (12.4%)
4. ナイジェリア - 34万トン (12.1%)
5. ブラジル - 17万3000トン (6.2%)
6. カメルーン
7. エクアドル
8. ドミニカ共和国
9. マレーシア
10. コロンビア

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%82%AB%E3%82%AA#.E7.94.9F.E7.94.A3>

アパルトヘイト

アパルトヘイト (*Apartheid*^[1]) は、[アフリカンス語](#)で分離、隔離の意味を持つ言葉。特に南アフリカ共和国における白人と非白人（黒人、インド、パキスタン、マレーシアなどからのアジア系住民や、カラードとよばれる混血民）の諸関係を差別的に規定する人種隔離政策のことを指す。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A2%E3%83%91%E3%83%AB%E3%83%88%E3%83%98%E3%82%A4%E3%83%88>

オーストラリア連邦

オーストラリア連邦（オーストラリアれんぽう、英語: Commonwealth of Australia）、またはオーストラリア（Australia）は、オセアニアに位置する連邦立憲君主制国家。南東にはニュージーランド、北には、インドネシア、パプアニューギニア、東ティモールがある。ロシア、カナダ、中国、アメリカ、ブラジルに次ぐ世界で6番目に面積の大きい国である。イギリス連邦加盟国であり、英連邦王国の一國。

アボリジニ

アボリジニ (Aborigine) とは、[狩猟採集生活](#)を営んでいた[オーストラリア大陸](#)と[周辺島嶼](#)の先住民。

"aborigine" は、[英語](#)において日本語の原住民に当たる言葉だが^[1]、先住民という概念が広がるにつれオーストラリア先住民という意味合いで使われることが多くなった。本稿でもその意味で用いる。「アボリジニ」に差別的な響きが強いため、現在では「アボリジナル」または「オーストラリア先住民」という表現が一般化しつつ有る。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A2%E3%83%9C%E3%83%AA%E3%82%B8%E3%83%8B>

白豪主義

白豪主義（はくごうしゅぎ、英: White Australia policy）は、オーストラリアにおける白人最優先主義とそれにもとづく非白人への排除政策。狭義では1901年の移住制限法制定から1973年移民法までの政策方針を指す。広義では、先住民族アボリジニやタスマニア州のオーストラロイド系住民やカナカ人などのメラネシア系先住民^[1]への迫害や隔離など、オーストラリアにおける人種差別主義の歴史全般を指す。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%99%BD%E8%B1%AA%E4%B8%BB%E7%BE%A9>

世界の埋蔵量 [編集]

比較的埋蔵量の多い国は[アメリカ合衆国](#)・[ロシア連邦](#)・[中華人民共和国](#)。古期造山帯で多く産出される。炭層が厚く、広範囲に分布することから、露天掘りが多い。輸出向けの実績はオーストラリア、インドネシアが堅調に推移。インドネシアは良質な瀝青炭の埋蔵量が減少傾向にあり、今後は亜瀝青炭の生産量が増加していくものと見られる。中国は石炭需給が逼迫（ひっぱく）している中、**2007年**にはついに石炭輸出国から輸入国へ転じる見込みとなっており[1] 、石炭生産の安全対策の確保が急がれる。日本は、オーストラリア、インドネシア、中国、ロシアなどから年間約1億8千万トンもの石炭を輸入している。

() 内は2008年の埋蔵量（億トン、BP統計）。

- [アメリカ合衆国](#)（2383）
- [ロシア](#)（1570）
- [中国](#)（1145）
- [オーストラリア](#)（762）
- [インド](#)（586）
- [ウクライナ](#)（339）
- [カザフスタン](#)（313）
- [南アフリカ](#)（304）

主な産炭地 [編集]

() 内は1980年からの産出量の割合（%）。年合計は38.34億トン。

- [中華人民共和国](#)（31.2）
 - [タートン](#)、[平朔](#)（[朔州市](#)）、[神木](#)（[榆林市神木県](#)）、[フーシュン](#)、[フーシン](#)、[カイロワン](#)、[ピンシャン](#)
- [アメリカ合衆国](#)（25.5）
 - [アパラチア](#)（瀝青炭）、中央、[ペンシルベニア](#)（無煙炭）、[ロッキー](#)（褐炭）
- [インド](#)（8.7）
 - [ダモダル](#)
- [オーストラリア](#)（7.1）
 - [ボウエン](#)、[ハンター](#)
- [南アフリカ共和国](#)（6.1）
 - [トランスヴァール](#)
- [ロシア](#)（4.4）
 - [クズネツク](#)
- [ポーランド](#)（2.8）
 - [シロンスク](#)
- [ウクライナ](#)（2.2）
 - [ドネツ](#)
- [カザフスタン](#)（1.9）
 - [カラガンダ](#)

- イギリス

- ヨークシャー、ランカシャー、ウェールズかつては600以上の炭田があり20万人以上が従事していた。

- ドイツ

- ルール、ザール、ザクセン

参考資料：[鉄鋼統計要覧](#) など

主な消費国 [編集]

2008年の主要消費国上位5ヶ国は中国（70.2）、アメリカ合衆国（24.6）、インド（53.3）、日本（25.4）、南アフリカ（77.7）である。（ ）内は各国の1次エネルギー消費に占める石炭の割合（％）。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%9F%B3%E7%82%AD#.E4.B8.BB.E3.81.AA.E7.94.A3.E7.82.AD.E5.9C.B0>

鉄鉱石

産出地 [編集]

鉄鉱石は世界中から産出するものの、2006年時点の埋蔵量1,800億トンのうち、[ロシア](#)、[オーストラリア](#)、[ウクライナ](#)、[中国](#)、[ブラジル](#)の上位5カ国だけで約73%を占める。コスト・品質の面から商業的な**鉱山**が操業できるのは、オーストラリア、ブラジル、中国、[カナダ](#)、[インド](#)、ロシア、[アメリカ合衆国](#)、[ウクライナ](#)などに限られる。これらの国は、地面から直接鉄鉱石を掘り出す、露天掘りができる。特に、オーストラリアやブラジルの鉄鉱石はFeの占める割合が約65%と高品質である。これら鉱山はほとんどが赤鉄鉱であり、数十億年前の海中に堆積したと考えられている。

産出地別の産出量では、ブラジル(22.3%)、オーストラリア(19.6%)、中国(16.6%)、インド(10.9%)、ロシア(6.8%)、の上位5カ国が76%を占める(2005年)。なお、[第二次世界大戦](#)直前の1937年の統計ではアメリカ合衆国(68%)と[スウェーデン](#)の2国だけで全世界の産出量の85%を占めていた。2005年現在、この2カ国の産出量は1937年当時とあまり変化していないが、シェアは5.9%に低下した。これは産出量が9,780万トン(1937年)から8億2900万トン(2005年)に増えているからである。

採掘された鉄鉱石は、[ベルトコンベヤー](#)などの設備によって[貨車](#)や[貨物船](#)(河川用)に積み込まれ、輸出港まで運ばれる。そこから、[鉱石運搬船](#)という鉄鉱石専用の貨物船で外国へ輸出される。なお、トラックはコストが高いためあまり使われない。

貿易 [編集]

鉄鉱石は、貿易上重要な資源の一つである。取引される重量でも石油に次ぐ。2003年度の鉄鉱石の海上貿易量は5億2,000万トンだった。イギリス、韓国、フランス、ドイツ、日本など主要国は鉄鉱石をほぼ100%、輸入に頼っている中で、アメリカ合衆国は輸入依存度が23%と低い。なお、鉄資源としては鉄鉱石以外にスクラップなどリサイクルされた鉄が約3億トンある。近年の鉄鉱石の需給タイトは鉄鉱石貿易の重要性を改めて示している。主な貿易国であるオーストラリアとブラジルは、[地政学](#)的な地位を高めている。中国が2004年にブラジルに対し国家として経済的分野での接近を図ったのは、こうしたブラジルの資源に着目したことも要因のひとつに挙げられている。



輸出 [編集]

2005年度の国別輸出量は、オーストラリアが33.4%(2億3940万トン)、ブラジルが31.3%(2億2416万トン)、インドが10.2%(7340万トン)、である。

輸出シェアは、ブラジルの[リオドセ](#)、オーストラリア・イギリスの[BHPビリトン](#)と[リオ・ティント](#)の鉄鉱石3大メジャーが約80%を占めている。1990年代に市況低迷による合理化や淘汰が起こった。その結果、業界の再編が加速し、[寡占化](#)が進展した。

輸入 [編集]

輸入量は、長年日本が世界トップだった。しかし、中国の経済発展より、2003年度に中国が日本を追い越して世界トップになった。中国は自国で鉄鉱石を産出できるが、それらは低品質の鉄鉱石(Feの占め

る割合が約30%、だいたい40%–50%が必要といわれている)のため、結局はコストが高くなってしまふ。よって、高品質の鉄鉱石を輸入に頼っているのが実情である。

2005年度の国別輸入量は、中国が37.5% (2億7526万トン)、日本が18.0% (1億3231万トン)、韓国が5.9%、ドイツが5.3%、フランスが2.7%、イタリアが2.4%、イギリスが2.2%、台湾が2.0%である。東アジアだけで2/3を占めている。

日本は、砂鉄が少量のみ産出されるだけで、ほぼ全量を輸入している。2006年度は、1億3,429万トン輸入した。国別輸入先は、オーストラリアが61%、ブラジルが22%、インドが7%である。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%89%84%E9%89%B1%E7%9F%B3#.E7.94.A3.E5.87.BA.E5.9C.B0>